

## ノースマホタイム

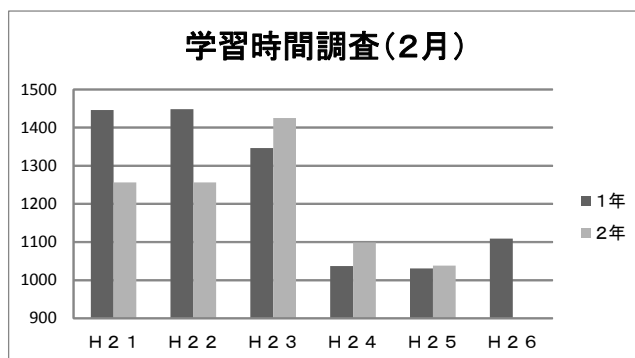
本校生徒会の呼びかけで2月16日（期末試験時間割発表日）から26日（期末試験最終日前日）まで「ノースマホタイム」を実施しました。

ご家庭での様子はいかがだったでしょうか。生徒に対しては事後アンケートを実施して効果等を検証する予定にしています。

## ラインと益高生の学習時間

右のグラフは昨年の2月に発行した「いわみの特別号④」の記事に今年度の2月の学習時間を追加したものです。

益高生の2月の学習時間を過去5年までさかのぼり、縦軸は1週間の学習時間の平均、単位は「分」で、横軸は「年度」です。一昨年度から学習時間が大きく減少していることがわかります。



ラインは平成23年6月にサービスが

開始され、平成25年には利用者が3億人を突破したと言われています。ラインの普及と益高生の学習時間はピッタリと一致しています。本校では3学期期末試験期間中に「ノースマホタイム」を実施しましたが、スマホとの付き合い方は益高生の夢の実現に大きな影響を及ぼします。「みんなもやっている」とか「そういう時代である」ではなく、スマホとの付き合い方を真剣に考えてみる必要があります。

## 2年生は特に心配です

今年度2月の2年生は棒グラフがありません。グラフは昨年度と同じスケールなのですが、今年度の2年生の値が900だったので棒グラフに表われませんでした。また、2年生は1年生の頃よりも学習時間が大きく減っています。心配です。

## 考えた上で…

☆渡部教頭先生には高校生のお子さんがおられるそうです。そのお子さんは最近、時間がもったいないという理由でラインをやめたそうです（スマホを解約したのではなくラインのアプリをアンインストールした）。友だちがラインをやめたのも理由の

一つのようなです。いつまでラインをやめるのかは決めてないとのことですが、いろいろ考えた上でそのようにしたのだと思います。

☆益高を卒業して都会の大学に通うMくん。彼は浪人して大学に入ったのですが、その1年間はスマホを解約したそうです。いろいろ考えた上でそのようにしたのだと思います。

☆「勉強部屋にスマホを持っていかないようにしている」「スマホを寝室に持っていかない」…これらは本校生徒がアンケートの自由記述で記したものです。いろいろ考えた上でそのようにしたのだと思います。

スマホは便利なものですが高校生にとっては悩みのタネでもあります。大人世代が高校生だった時にはなかった悩みでもあります。スマホと付き合っていくにはいろいろ考えることが必要です。

## 子供のための情報モラル育成プロジェクト



近年、スマートフォン等の長時間使用による生活習慣の乱れや不適切な利用による青少年の犯罪被害、さらにプライバシー上の問題等につながるケースが増えています。文部科学省は、スマートフォンの利用について家族で考えることを提案するスローガンとロゴマークを製作し、子どもたちの情報モラルを考えるキャンペーン「子供のための情報モラル育成プロジェクト」を行っています。左にあるのはそのロゴマークです。

「子どもは携帯・スマホを夜10時から朝6時まで使わない」などの取組をしている地方自治体もあります。また、名門と言われる自由な校風の高校でもスマホの持ち込み禁止の校則化が行われたという報道もありました。

いずれにしても「スマホの使い方は子どもたちに任せる」ではうまくいかないのだと思われます。

本校ではスマホ等に関する指導をこれからも継続していきます。ご家庭でも話し合いをしていただきますようお願いいたします。